

## 学 識 経 験 者 の 意 見

元名古屋芸術大学人間発達学部講師 伊藤孝照

### 1 教育委員会の活動状況について

蟹江町の政策方針の下、会議や活動、事業が適正・着実に実施されていることを高く評価したい。今後も、各活動や事業に対して点検・評価を重ね、より効果的に取り組み、蟹江町の教育の充実・発展を図られることを望む。

### 2 教育課の事業について

学校経営について、校長の学校経営方針に基づき、学校評価を充実させて改善策を考えるとともに、保護者、地域等と連携しながら学習指導要領による教育課程を適切に実施していることは、評価に値することである。さらに一歩進め、「開かれた学校経営」に向け、積極的に評価を受けて改善を図ることで信頼される学校づくりを進めるために、「学校運営協議会（コミュニティースクール）」の設置を検討されてはどうであろうか。

生徒指導に関して、各学校を始め教育委員会や関係機関が連携・協力をして問題の早期発見・早期対応に努力しておられることを評価したい。しかし、不登校、いじめ、暴力行為は、ここ数年でなかなか減少傾向は見られない。特に小学校に比べて中学校での数値が高い。中学校での問題行動をどうすれば減らすことができるかを学校・教育委員会・家庭等で真剣に考えていかなければならない課題であると思う。何といたっても生徒指導で最も大切なことは、児童・生徒が学校の学習（授業）に満足しているか、授業中や部活等で存在感を持っているかということである。児童・生徒にとって学校にいる時間の大半は授業時間である。特に中学校において、生徒が満足する授業を行うことが教師にとって最も大切な仕事である。しかし、そのための教材研究や授業準備をしっかりとる時間が教師に保証されているのだろうか。中学校教師に任されている部活動の指導が大きな問題点であると思う。地教委の方で部活動の外部コーチや支援ボランティアを大幅に増員してもらって、教員が授業準備や教材研究に費やせる時間を保証してやってもらいたい。

### 3 生涯学習課の事業について

生涯学習に関わる多くの事業や活動が企画運営され、素晴らしい。さらにできれば家庭教育講座の充実を望みたい。核家族がほとんどの現代、子育てについて直接教えてもらえる舅や姑もいなくて一人で悩む親が多い。そのために虐待等悲しい事件・事故が起こっている。若い親が子育てや家庭教育について学ぶ場ができるだけ多く設定されるとよい。自治体によっては、「家庭教育支援条例」を制定して家庭教育の充実を図っているところがいくつかあるので参考にされてはどうか。

図書館については、設備が充実し本に親しむための様々な活動が行われており素晴らしいことである。また、インターネットを活用したサービスにも工夫・努力されており素晴らしい。今後も継続して資料の充実・情報提供に努め、町民の図書活用意識を一層高めていってほしい。